



おおもりっこ

陽だまりに春の暖かさが感じられるようになり、過ごしやすい日も増えてきました。今年度も残り1か月余りとなりました。次の学年に向けた気持ちの高まりを大切にして、1年間のまとめをしていきたいと思えます。

今回の学校だより「おおもりっこ」では、「『学校教育アンケート』特集」と題し、先日実施したアンケートの結果を掲載し、成果と課題、今後の方向性についてお知らせいたします。アンケートへのご協力ありがとうございました。



「学校アンケート」特集 ※ ホームページ用に一部追記しています。

【見方】 表内のポイントは、A「よくあてはまる」を3点、B「どちらかと言えばあてはまる」を2点、C「どちらかと言えばあてはまらない」を1点、D「あてはまらない」を0点として計算し、得点化したものです。（「R02・R01」の欄は過去のポイントとなります。）

右端の「%」はA「よくあてはまる」、B「どちらかと言えばあてはまる」と肯定的に受け止めている回答の割合を示しています。

	児童	R03	R02	R01		保護者	R03	R02	R01	「はい」と「どちらかといえばはい」の割合	
										児童	保護者
1	学校生活は楽しい。	2.60	2.40	2.55	1	学校に楽しく通っている。	2.45	2.61	2.57	94.4%	89.5%
2	学校の授業は、分かりやすい。	2.40	2.36	2.42	2	学習内容を理解し、習得している。	2.20	2.15	2.09	90.4%	84.7%
3	文章を読んだり、書いたりすることは好きである。	1.92	2.03	2.08	3	文章を読んだり、書いたりすることは好きである。	1.74	2.02	1.97	70.7%	58.3%
4	学校生活のきまりを守り、挨拶や返事を進んでいる。	2.37	2.38	2.39	4	学校生活のきまりを守り、挨拶や返事を進んでいる。	2.24	2.31	2.33	88.9%	90.3%
5	誰とでも仲良く勉強したり、遊んだりしている。	2.56	2.52	2.61	5	誰とでも仲良く勉強したり、遊んだりしている。	2.24	2.47	2.40	92.2%	88.2%
6	進んで運動している。	2.22	2.19	2.22	6	進んで運動に取り組んでいる。	1.96	2.11	2.10	79.3%	70.1%
7	困ったときに話をしたり、相談をしたりする人がいる。（親・友達・先生など）	2.44	2.46	2.60	7	困ったときに話を聞いてくれる人がいる。	2.24	2.44	2.48	87.1%	87.5%
8					8	家庭との連絡や学校からの情報提供が、きめ細かく行われている。	2.08	2.26	2.30		84.0%
9	学校行事（運動会・作品展など）を、がんばることができた。	2.74	2.66	2.76	9	学校行事を通して、子どもたちの活動の様子が分かる。	2.01	2.11	2.24	96.7%	75.7%
10	学校は安全で、安心して生活することができる。	2.63	2.57	2.58	10	学校は施設や設備を整え、よりよい生活・学習環境づくりに努めている。	2.05	2.22	2.28	93.9%	81.9%

※ 本結果を受けた成果と課題、今後の方向性については、裏面に掲載しています。ご覧ください。

【児童アンケートの結果より】



質問1について、「学校生活は楽しい」（「はい」「どちらかと言えばはい」）と答えている児童が94.4%と、高い割合でした。全児童が楽しいと言えるような学校にするために、一人一人の様子をよく見て、学校全体として支援や指導を続けていきたいと思えます。

質問3の国語力に関する項目については長年の課題となっています。今年度も文章を読んだり書いたりすることに対する苦手意識をもっている児童が30%いるという結果となりました。文章の読み書きは、あらゆる学習の基礎となるので、言葉に親しみをもって意欲的に学べるようにしたいと思えます。

質問6の運動について、ポイントは、2.22と、他の項目と比べると低いですが、回答の内訳では「進んで運動している」（「はい」）と答えている児童は約50%であり、他の項目と比較してもそれほど低い割合ではありません。一方、「いいえ」と答えている児童が6.3%と他の項目と比べると高い割合となっています。運動に対して苦手意識のある児童に目を向け、ご家庭とも連携して、日常的な運動の習慣が身に付くように、働き掛けをしていきたいと思えます。

質問9について、今年度も学校行事の様々な変更や中止がありましたが、運動会や作品展は「頑張ることができた」（「はい」「どちらかと言えばはい」）と答えた児童が96.7%と非常に高く、達成感を得られたという声も数多く聞かれました。大きな行事に向かうときの児童の姿は大変たくましく、改めて、小学生における学校行事の重要性を感じます。

その他の質問については、過去との大きな差はなく、A「あてはまる」B「どちらかと言えばあてはまる」と答えている児童が、どの項目も90%前後となりました。授業の分かりやすさ、友達との関わり、安心できる環境は、全ての児童にとってよい状態にしなければならないものです。今後も、C「どちらかといえばあてはまらない」D「あてはまらない」と答えている児童の実態に目を向けて、継続的な支援をしていきたいと思えます。

【保護者アンケートの結果より】



児童アンケートと近い結果になっている項目について、学校での児童の生活や学習の様子が概ね伝わっているように感じ、ありがたく思えます。

学習に関する項目では、「タブレット端末を活用した学習によって楽しく学ぶことができている」「教科によって得意な先生が指導するのはとても良い」等、肯定的な意見を多くいただきました。一方、児童アンケートからも課題としてあげられる**質問3**「国語力（読む・書く）」では、肯定的な回答（「はい」「どちらかと言えばはい」）の割合が60%に届かず、保護者の方からも課題としてあげていただいております。読んだり書いたりする力を高めるためには継続が大切です。課題解決に向けて、学校での取り組みを強化したいと思えます。ご家庭でも、お子様の読書場面や、ひとこと日記等を書く機会を増やすことができるようご協力ください。

学校行事については、「無事にできたことがよかった」「家庭での様子とは異なる子どもの姿を知ることができてよかった」という肯定的なご意見を多くいただきました。一方、コロナ禍の影響で時間や場所に制限があったため、授業の様子や学校の雰囲気は分かりづらかったという内容のご意見もいただきました。学校における児童の様子について、できる限りお伝えしていけるようにしたいと思えます。



学校関係者評価として、「学校生活が楽しいと感じている児童が多い。作品展においては、児童が楽しそうに作品をつくった姿が想像でき、学校教育努力点の主題通り「分かった！できた！楽しい！」と児童が実感できたのではないかと思う。今後も、児童が主体的に学ぶことができるように、タブレットを有効活用した学び合いの活動を一層充実させるとよい。」という意見をいただきました。